

EVRI

教育ビジョン研究センター

ISSN-L(PRINT): 2435-8134 ISSN(ONLINE): 2435-8037

EVRI研究プロジェクト叢書 Vol. 14

Bulletin of the EVRI Research Project (Vol. 14)

2021年度東広島市広域交流型 オンライン地域学習

—2022年1月実践「外国から来た人にとって
東広島市はくらしやすいか？」—



目次 CONTENTS

1. プロジェクト全体計画 03

2. 実施要領 07

3. 資料 13

板書計画
ワークシート
資料

4. 実施報告 19

5. 児童用アンケートの結果 23

自由記述の分析
量的データの単純集計

6. 担当者・協力者一覧 35

1. プロジェクト全体計画

はじめに

本叢書は、2021年度に広島大学教育ビジョン研究センター(EVRI)と東広島市教育委員会(学校教育情報教育推進室)の「協働」で実施された「広域交流型オンライン社会科地域学習」の成果を、月別に報告するものである。

詳細は、EVRIのホームページの実施記録に譲ることとして、ここでは「協働」の中身について紹介し、本プロジェクトの意義を指摘したい。

第1に、カリキュラムづくりの協働である。年間計画や毎月のテーマについてはEVRI側で原案を提案したが、最終的な実施計画は、毎月定期的で開催される双方の協議を踏まえて決定された。協議の間では、実施計画書案に基づいて各学級の教師や子どもの動きをシミュレートしたり、各月の研究課題を決めたりして(例えば、T1と子どもと直接対話しよう、学級単位の活動を充実させよう、学級相互の対話を促進しよう)、細部にわたる授業計画の検討と漸進的な授業改善が行われた。

第2に、教師教育の協働である。授業の1週間前には、参加校の教員を対象に教材解釈や授業展開についてオンラインでのガイダンスを実施した。画面上にはEVRIの草原(T1)と市教委の指導主事がスタジオのテーブルに並んで出演し、双方が掛け合いをしながら趣旨説明や質疑応答を行った。あわせて事前のテクニカルな支援を行った。

第3に、学校支援の協働である。授業には、市教委が雇用する技術支援員と、広島大学の大学院生・学部生及びEVRIのスタッフが外向き、授業の運営を支援した。EVRIは必要に応じて教材(写真や統計、ワークシートなど)や機材を提供するとともに、オンラインでの学習環境整備を現場で支援した。

第4に、授業評価の協働である。授業の終了後には、市教委は参加校の管理職や担当教員に、また技術支援員に聞き取りを行い、成果と課題を集約した。EVRIもまた同様に派遣学生から聞き取りを行うとともに、参加校の児童には質問紙調査を行い、結果を双方で共有した。このようにして蓄積されたデータは、次月の実践に活かされた。

このような「協働」が組織的に行われたことが、本プロジェクトの成果と考えている。

読者に注目してほしいのは、本叢書に所収された毎月の記録から見えてくる取組の変化である。実施計画書のフォーマットや提供される教材の量と質は、学校現場の要請や実施の成果を受けて、段階的に変化している。授業中の映像は、ライブ中継の単独から録画との併用へと変わった。中継先は、市内から市外へ、そして世界へと拡大した。T1が授業を行う場所は、中継先のフィールドから大学のスタジオへ、そして参加校の教室へと移動した。これらの変化が意味することの解明は今後の研究に委ねたいが、本叢書はこれらの点を考える基礎的資料を提供していると思われる。

2021年度の成果とその分析は、本叢書以外にも以下の文献に掲載されている。参照していただきたい。

- ・草原和博「越境的対話による教科教育の教室空間の変容－社会科を例に－」『中国四国教育学会第73回大会シンポジウム成果報告書・資料集』日本教科教育学会四国地区・中国地区教育学会, 2021年, pp.13-20。
- ・宇ノ木啓太『オンライン学習を導入した社会科地域学習の変革－理解主義の課題の克服を目指して－』広島大学大学院人間社会科学研究科修士論文, 2022年。
- ・草原和博「学びの民主化ツールを活用して地域学習を変革する」『社会科教育』明治図書, 2022年3月号, pp.10-13。
- ・草原和博「越境的対話による教科教育の教室空間の変容－社会科を事例に－」中国四国教育学会『教育学研究ジャーナル』第27号, 2022年, pp.47-52。

なお、本実践にあたっては、市教委や参加校の先生方、中継先の市役所・企業、地域住民の皆様など、多くの方々のご協力をいただいた。広島大学の学生や EVRI のスタッフには、毎月の実施に献身的なご助力をいただいた。広島大学大学院人間社会科学研究科からは、「令和3年度研究科裁量経費・東広島市連携・広域交流型オンライン地域学習支援事業」の補助金をいただいた。初年次でこれだけの成果が得られたのは、上述の関係機関のご支援の賜物である。ここに記して、あらためて御礼を申し上げます。

私自身は、この1年、90分の生放送のテレビ番組を毎月定期的に制作している感覚を覚えた。番組を作ることの難しさと喜びを、そしてチームワークの大切さを実感した。この経験を、今後の教育・研究に活かしていきたい。

2022年3月31日

広島大学教育ビジョン研究センター・センター長
人間社会科学研究科・教授

草原和博

◆ プロジェクトの趣旨

本書は、広島大学教育ビジョン研究センター(以下、EVRI)が、東広島市教育委員会と連携して行う、市内複数の小学校をオンラインで結んだ広域交流型オンライン社会科地域学習の実践とその成果を報告するシリーズ(分冊)の一部である。

EVRI(センター長:草原和博)は 2021 年度から、東広島市教育委員会と連携して、市内複数の小学校をオンラインで結んだ広域交流型オンライン社会科地域学習を開始した。実践を通して、[GIGA スクール構想](#)の推進によって実現した子どもたちの「1人1台」端末と学校の ICT 環境を活用して、市内各地からの中継を交えながら、東広島市の地理・歴史・政治・経済・文化などについて対話的・双方向的に学ぶことを意図した。さらに、この学びを広島大学の教員と大学院生がコーディネートすることで、実践の円滑な運営を支援しつつ、小学校教員が ICT を活用したオンライン授業を体験し、実践的な知見を獲得することができるよう配慮した。

2021 年度は、2021 年 6 月の試行に基づいて、毎月 1 回 2 時間、テーマを決めて授業を実施した。この企画が実現することで、小規模校と大規模校の子どもが、年間を通して、各地域のようすを比較したり交流したりしながら学びを深められることを意図した。なお、プロジェクトの実施にあたっては、参考コンテンツとして、EVRI が東広島市立図書館の依頼を受けて開発した「[東広島市地域学習用デジタルコンテンツ\(通称「のん太の学び場」\)](#)」を活用した。

[プロジェクト紹介ページはこちら](#)
(右の QR コードからもアクセス可能)

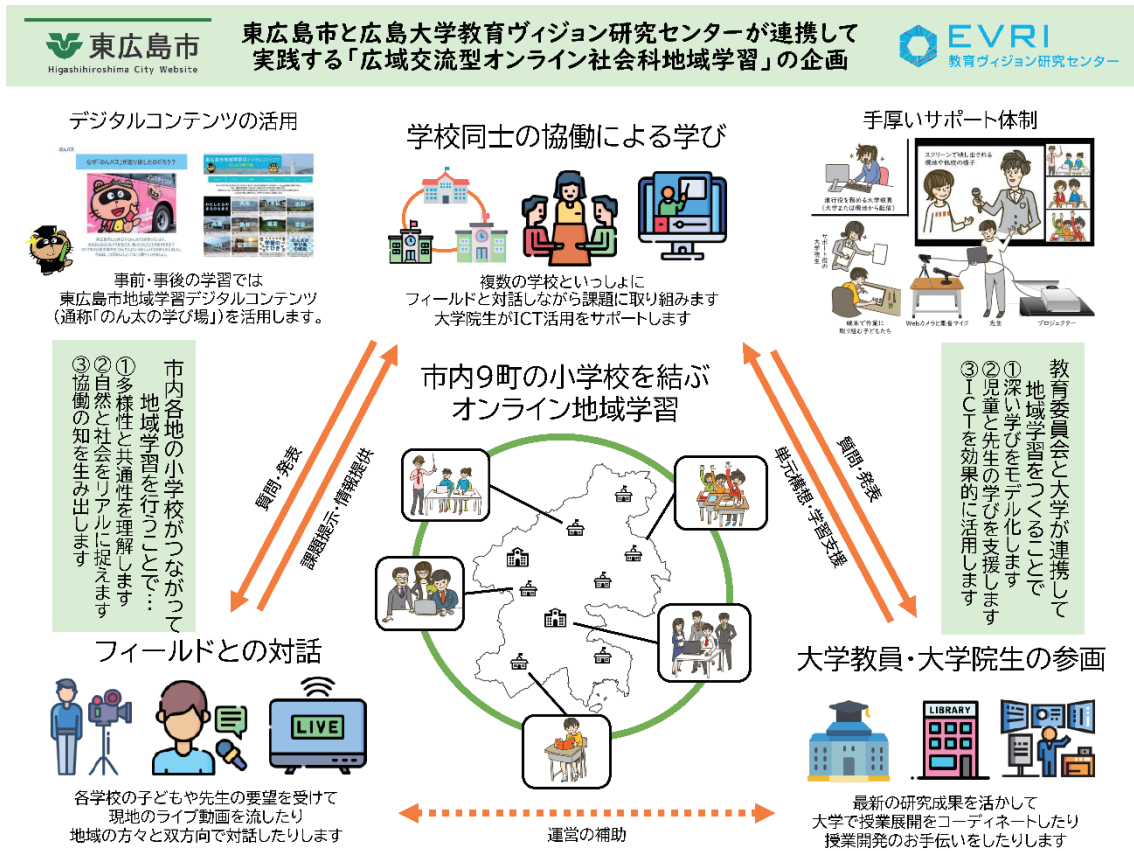


◆ プロジェクトの目的

EVRI が開発した「のん太の学び場」(東広島市地域学習用デジタルコンテンツ)と、東広島市教育委員会作成の小学校社会科副読本を効果的に連携させた広域交流型オンライン社会科地域学習の実施を通して、児童の主体的・対話的で深い学びを創造する。主な目的と実施内容は以下の 4 点である。

- 「東広島市内の小学校」と「学習対象となる地域等」と「広島大学」がオンラインでつながり、遠隔(オンライン)で授業を実施する。
- 遠隔授業の全体進行は、広島大学の担当者が行う。各教室での指導は、各学級の担任等が行う。
- 遠隔授業では、児童が自分のタブレットから参加できる機会を設ける。
- 授業時は、参加校に技術的なサポート要員(大学院生等)を派遣し、授業準備、授業支援、後片付け等を行う。

◆ プロジェクトの実施体制



◆ 実施スケジュール

対象	実施日	単元名
第4学年	2021年6月18日	ピンク色のバスのヒミツをさがれ！仲間をさがせ！ 「バスを比べよう(1)ーピンクのバスのひみつー」
第4学年	2021年6月25日	ピンク色のバスのヒミツをさがれ！仲間をさがせ！ 「バスを比べよう(2)ー私たちの町のバスのひみつー」
第3学年	2021年7月15日	「スーパーと直売所、どこが違う？どこが同じ？」
第4学年	2021年9月15日	「さい書から身を守るーさい書でケンなところ、さい書のサインをさがそう！ー」
第3学年	2021年10月20日	「高屋に新しい消防署ができるらしいよ・・・なぜ？」
第4学年	2021年11月17日	「伝とう」って変わっていいの？私たちのまちの伝とうと未来を予想しよう」
第3学年	2021年12月15日	「駅からみるわたしたちの市のあゆみ」
第4学年	2022年1月19日	「外国から来た人にとって東広島市はくらしやすいか？」
第3学年	2022年2月9日	「もしも東広島に大学がなかったら？」
第4学年	2022年3月9日	『わたしたちの東広島市』の表紙にぴったりな写真を選ぼう」

2. 実施要領

東広島市・広島大学教育ビジョン研究センター連携 「広域交流型オンライン社会科地域学習」2022年1月実施要項

1. 目的

広島大学教育ビジョン研究センターが開発した「のん太の学び場」（東広島市地域学習用デジタルコンテンツ）と東広島市教育委員会作成の小学校社会科副読本を効果的に連携させた広域交流型オンライン社会科地域学習の実施を通して、児童の主体的、対話的で深い学びを創造する。

2. 実施内容

- 市内の小中学校、学習対象となる地域・施設と広島大学がオンラインでつながって、遠隔授業を行う。
- 遠隔授業の全体進行は、大学の担当者（T1）が行う。各教室での指導は、各学級の担任等（T2）が行う。
- 可能な範囲で、参加校には大学より技術的なサポート要員（T3）を派遣し、授業準備、授業運営支援、ICTの活用支援等を行う。
- 遠隔授業では、児童が自分のタブレットから参加できる機会を設ける。

3. 授業の日時および参加予定校

- 2022年1月19日（水）3時間目：10：25～11：10、4時間目：11：15～12：00
- 東広島市内小中学校の4年生（6校13学級、416名）
板城（2）、原（1）、高美が丘（3）、三ツ城（3）、中黒瀬（3）、豊栄（1）

4. 単元名および目標

- 単元名 「外国から来た人にとって東広島市はくらしやすいか？」
- オンライン地域学習の単元目標

【知識・技能】 県内の外国人市民の数からみたら東広島市の特色を知っている。東広島市の国際交流のための取組を知っている。

東広島市の外国人市民の出身国や滞在目的を、グラフから読み取ることができる。

【思考・判断・表現】（第1時）外国に移り住んだ人の話を手がかりに、国際「交流」を促進・阻害する条件を、①くらしやすさと②くらしにくさ、それぞれの視点から説明できる。（第2時）外国人市民の話を手がかりに、国際「交流」を促進する具体的な方策を、①個人の行動・心がけと②社会の制度・しくみづくり、それぞれの視点から提案できる。

【学びに向かう力】 市役所の担当者や市議会の議員との対話を通して、私たちが国際「交流」のためにできることを考えることができる。

【ICT】 タブレットを操作して自分の判断を発信できる。オンライン学習に参加して、教室のなかで発表できる。他校に向けて発表できる。

- ・赤色：タブレットの活用場面
- ・黄色：各学級メインの活動場面
- ・青色：中継場面
- ・教室での準備物：ホワイトボードまたはA3の紙、必要に応じてワークシートと補助資料の印刷
- ・教室の基本操作：手を挙げる、カメラにホワイトボードや紙を向ける、チャットで報告、発表時のミュート解除

○ 本時の目標

- ・1/2時：東広島市が国際交流を進める上で、課題となつていていることを見つけてることができる（思考・判断・表現）。
- ・2/2時：東広島市が国際交流を進める上で、私に「でも」でできることと、市に「こそ」でできることを提案できる（学びに向かう力）。

5. 授業展開

T1(草原)の動き	予想される児童の反応	T2(学級担任)の動き	ホスト(広大)の動き
<p>【第1時】東広島はくらしやすいか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生とゲスト、レポーターの紹介 <p><導入：東広島市とは></p> <p>Q1 東広島市はどんなところ？(5)</p> <p>① のん太クイズ(ICT)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東広島市で、外国から来た人(外国人市民)の数は？ ・広島県で外国人市民の割合が一番大きいのは、どこだろう？ ② なんて多いのかな？ <p><展開：外国人市民のきもち></p> <p>Q2 東広島市は外国人から来た人にとって、どんなところ？(5)</p> <p>① のん太アンケート(ICT)</p> <p>東広島は外国から来た人にとって「くらしやすい」ところか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とてもくらしやすい ・くらしやすい ・くらしにくい ・とてもくらしにくい 予想しよう <p>② どうしてそう思ったの？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ピンとこないぞ ・7,000人かあ。多いの少ないのか、よく分からないなあ ・県内の他の市と比べると、外国人の割合が2倍多いんだ。すごいな ・仕事で来ている。勉強かなあ。 ・どちらかというと、「くらしにくい」のではないかな ・いいえ：くらしにくい。なぜなら <ul style="list-style-type: none"> 寒いから 学校の勉強が難しいから 言葉が通じない、日本語しかないから ・はい：くらしやすい。なぜなら <ul style="list-style-type: none"> 人がやさしいから 店がたくさんあるから 日本語教室があるから <p>【1時間目のめあて】：外国から来た人にとつて、なれない土地には、どんな「くらしやすさ」や「くらしにくさ」があるのだろう？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・QRコードを読んで、児童の端末にアンケート画面を表示させておく ・タブレットでの投票を支援する ・統計(資料1)を掲示する。必要に応じて数字の意味を指導する ・個別に児童に問いかけ、答えさせる ・タブレットでの投票を支援する ・個別に児童に問いかける <ul style="list-style-type: none"> 素朴で率直な意見を引き出す 	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの中継先とホストをスポットライト ・Googleのクイズ画面を画面共有 ・1分のカウントダウンをする ・結果の共有→答え合わせ ・T1から指名されたクラスをスポットライト ・Googleのクイズ画面を画面共有 ・1分のカウントダウンをする ・結果の共有→傾向を把握する ・T1から指名されたクラスをスポットライト。対話できるようにする

<p>Q3 日本から外国に行くとき、どんなところが「くらしやすい」「くらしにくい」のだろうか？ (12)</p> <p>① 予想しよう→事前アンケートの結果を確認しよう</p> <p>② お話を聞いて、ワークシートにまとめよう。</p> <p>・ドイツに行った●●さん</p> <p>・アイスランドに行った西田さん</p>	<p>・自分が行きたくて外国に行った人＝大人もいれば、親の都合で外国に行った人＝子どももいるのかあ</p> <p>・子どもは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ●困っているとき周りの人が教えてくれる ●スポーツは言葉なしでも楽しめる ▲学校の授業が分からないので困る→でも友達が身振りで教えてくれるよ <p>・おとなは</p> <ul style="list-style-type: none"> ●入試がない、宿題がない、タダ ●外国人を差別しない ▲天気が変わりやすい、 ▲生活にお金がかかる、何でも値段が高い <p>・中国、韓国、ベトナムの人々が多いね。日本から近いところだね</p> <p>・広島大学に勉強に來たり(留学)、農業や漁業のし方や工場でのモノづくりのし方を学びに來ているんだね(技能実習)</p> <p>・予想したほど東広島が「くらしにくい」と答える人は多くないな。でも「くらしにくさ」は気になるぞ</p> <p>例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホで買い物ができにくい ・イスラムの人は外食が難しい ・アルバイトでやとってもらえない ・病気のしよじょうを伝えにくい 	<p>・地図(資料2)を掲示し、話に出てきた国にシールを貼っていく</p> <p>・話に出てくる外国生活の「良さ」や「困った」に注目させる。テロップを参考にキーワードを拾い、それを「くらしやすさ」と「くらしにくさ」に分けて板書する</p> <p>・話を聞いた後、ワークシートに記入させる</p> <p>・グラフ(資料3)を掲示し、読み取らせる</p> <p>・テロップを参考にキーワードを拾い、それを「くらしやすさ」と「くらしにくさ」に分けて板書する</p> <p>・留学生は、スマホで決済できない、ハラル対応の店が少ない、アルバイトが見つかからない、などの悩みを抱えることを強調する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出演者の滞在地をマークした世界地図を画面共有 ●●インタビュー(動画1)の再生 ・西田をスポットライト ・WSを整理する時間のラスト1分をカウントダウン
<p>Q4 外国から日本に來ると、どんなところが「くらしやすい」「くらしにくい」だろうか？ 提案は？ (12)</p> <p>① 調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこからきているのだろうか？ ・何しに來ているのだろうか？ <p>② 留学生のお話を聞いて、ワークシートにまとめよう (中国:孫、インドネシア:ムティア、タイ:スイラダー)</p> <p>③ Q2での予想と比べよう</p>	<p>例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホで買い物ができにくい ・イスラムの人は外食が難しい ・アルバイトでやとってもらえない ・病気のしよじょうを伝えにくい 	<p>・指摘された「くらしにくさ」のなかから、とくく気になるもの(解決したいこと)を発表させる。たくさん出たら3つ以内に絞り込ませる</p> <p>・3つを箇条書きにして、チャットで送信する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・統計グラフを画面共有 ・出演者の滞在地をマークした世界地図を画面共有 ・EVRI スタジオをスポットライト ・WSを整理する時間のラスト1分をカウントダウン
<p><終結:外国人にとつてのくらしにくさ></p> <p>Q5 東広島の「くらしにくいところ」で気になるところランキングをつくろう (10)</p> <p>① 上位3つを選ぼう</p> <p>② 外国人の友だちの声を聞こう</p> <p>③ チャットで広大に送ろう</p>	<p>例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホで買い物ができにくい ・イスラムの人は外食が難しい ・アルバイトでやとってもらえない ・病気のしよじょうを伝えにくい 	<p>・指摘された「くらしにくさ」のなかから、とくく気になるもの(解決したいこと)を発表させる。たくさん出たら3つ以内に絞り込ませる</p> <p>・3つを箇条書きにして、チャットで送信する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ギャラリービューで参加クラスを取組を俯瞰できるようにする ・チャットで送られてきた回答を集約し、パワポの様式に貼り付けていく

<p>【第2時】東広島をもっとくらしやすく <導入：私たちが気になるところ> Q1 各クラスが決めた東広島「くらしにくいところ」ランキングをみていこう (10) ① 「くらしにくさ」を分類してみるよ！ ② 1時間目のまとめをしよう</p>	<p>・くらしにくさは、「言葉」「お金」「生活」にまとめられそうだね 「くらしやすさ」は、きれいな自然、外国人になれている人たち。 「くらしにくさ」は、①言葉(授業で、病気のとき)、②お金(ねだん、買い方など)、そして③生活(仕事を見つけない、食べない)</p>	<p>・まとめを板書する</p>	<p>・休み時間の間に、パワポへの貼り付けを終わる ・パワポを画面共有する</p>
<p><展開：私たちの提案> Q2 外国から来た人にとって、東広島を「くらしやすさ」にするためにはどうしたらよいららう (20) ① とくに解決したい「くらしにくさ」を1つ選ぼう ② もっとくらしやすくなるために「どうしたらいいか」を考えよう。後で市役所や市議会の人とお話をします。その人たちにしてほしいことを提案しよう ③ 困ったときは、アイスランドの西田さんや広島大学の永田先生に相談しよう ④ 「どうしたらいいか」をA3の紙に書いて発表しよう</p>	<p>・1つに絞るのは難しいなあ ・とくに①病気や②外食(ハラル)に關することは解決したいなあ ・「どうしたらよいか」を考える方法には、大きく2つあるんだな ・私でもできること →「私が…してあげる」 ①私が、病院を探したり、LINEで行き方を教えてあげる ②私が、お店の人に豚や酒を使っていないか聞いてあげる ・市にそするべきこと →「市が…をつくる・する」 ①市が体調や病気について、いろいろな言葉で(オンラインで)相談できる窓口をつくる ②ハラルの食べ物を食べられるレストランの地図をつくる</p>	<p>・これまでの話を踏まえて、最も気になる課題を1つ選ばせる ・課題の解決策を考えさせる 「私でもできること(心がけ)」と「市こそするべきこと(しくみ)」に分けて提案させる ・アイデアが出ないとき 「手を挙げる」。西田さんや永田先生がアイデアを提供します。声があるさいときは、スピーカーの音声を絞ってください ・課題と解決策をA3の紙に書いてカメラの前へ。T1が当てたら代表児童が読み上げる(ミュート解除)</p>	<p>・課題指示の後、取り組み時間のラスト1分をカウントダウン ・ギャラリービューで参加クラスの取組のようすを俯瞰できるようにする ・「せーのーどん」で、参加クラスのA3の紙を俯瞰できるようにする ・指名されたクラスを順次スポットライトする →5秒程度間隔で13クラスを順次投影し、内容を確認できるようにする(可能ならばスクショをとり、パワポ等に貼り付ける)</p>

Q3 私たちの提案について、市役所の人の意見を聞いてみよう！(5)

- ① すでに実行されている提案はありますか？
- ② 今後市でも取り入れたい提案はありますか？

Q4 私たちの提案について、市議会の人の意見を聞いてみよう！(5)

- ① とくに気にいった提案はどれですか？なぜですか？
- ② 提案してくれた小学生に質問はありますか？

<終結:アドバイズ>

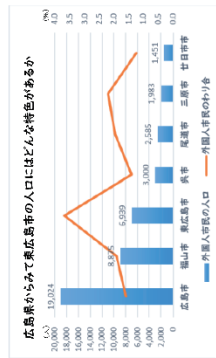
Q5 外国の人と共にくらししていくには、どうしたらいいだろう(5)

- ① 広大・永田先生と草原の対話
- ② 子どもとの対話
- ③ 2時間をまともめをしよう

<p>・私たちの提案の中には、すでに行なわれているものもあるね</p> <p>・東広島市は、外国から来た人のために熱心にやっっていることもあれば、足りないところも多いなあ</p>	<p>・担当者の話で気になったところは、キーワードで板書していく</p> <p>・県内から見えた東広島市の特色(外国人市民の多さ、国際性の高さ)を、あらためて強調する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中継先をスポットライト(市役所・生活環境部市民生活課) ・TIがクラスを指名すればスポットライト。対話できるようにする
<p>・議員さんは、市のくらしをよりよくする仕事をしているんだな</p> <p>・議員さんは、私たちの提案を実現してくれればいいなあ</p> <p>・市でもできることと、市だけではできないこともあるんだね</p>	<p>・担当者の話で気になったところは、キーワードで板書していく</p> <p>・適宜、議員のしごとを補足する。市のしくみやルール、お金の使い方を決める仕事をしていることを補足する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中継先をスポットライト(議会事務局・市民経済委員会の正副委員長、北林議員、鈴木議員) ・TIがクラスを指名すればスポットライト。対話できるようにする
<p>・もっと外国の人は増えてそうだね</p> <p>・最初はみんな外国語は苦手。遠くが見えない人が眼鏡をかけるように言葉が苦手な人には手助けが必要だね</p> <p>・一人で手助けできないときは、周りと助け合ったり、市に働きかけることも大事だね</p>	<p>・ことば(日本語)がうまく話せなくても、一緒にくらししていくために、私たちにできることを考えたいことを強調する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・EVRI スタジオをスポットライト
<p>東広島を外国から来た人が「くらしやすい」ところにする作戦には、</p> <p>① 私たち一人ひとり「でも」できる「ころがけ」と、② 市に「こそ」できる「しくみづくり」があるよ</p>		

6. 授業で用いる資料一覧

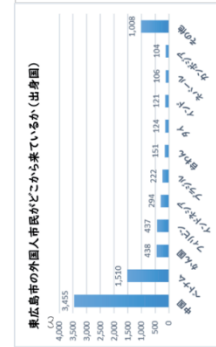
- ・資料1： 広島県からみて広島市の人口にはどんな特徴があるか
- ・資料2： 世界地図
- ・資料3： ①広島市の外国人市民がどこから来ているか（出身国）、②広島市の外国人市民は何のために日本に来ているか
- ・動画1： ドイツに滞在した●●兄弟のインタビュ
- ・動画2： 広島大学で勉強している留学生（中国、タイ、インドネシア）へのインタビュ
- ・動画3： サンスクエアで日本語を勉強している外国人（・・・）へのインタビュ



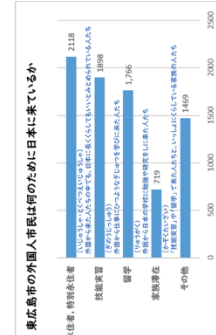
【資料1】広島県からみて広島市の人口にはどんな特徴があるか
広島市は広島県全体の人口の約8割を占めています。2022年10月現在の推計値です。
 広島市は2022年10月現在の推計値です。



【資料2】世界地図



【資料3】広島市の外国人市民の出身国別割合
(資料1)に基づいて作成(2022年10月現在の推計値)



【資料4】広島市の外国人市民の目的別割合
(資料3)に基づいて作成(2022年10月現在の推計値)

7. 大学の準備物

- <参加校に送付する資料>
 - ・資料1： A2×1枚, カラー
 - ・資料2： A2×1枚, 白黒, + ●のシール 15枚程度
 - ・資料3： A3×2枚, カラー
 - ・補助資料： 英語, 中国語, ポルトガル語, ベトナム語で書かれた「広報ひがしひろしま」
- <収録班・中継班のための小道具>
 - と×のマークが描かれた手上げ棒またはパネル（○と×, それぞれ4個）

3. 資料

※実践時の配布資料より引用、一部改変

◆板書計画

なれない土地のくらしやすさどくらしにくさ

東広島市

- ・外国人市民…7000人
- ・外国人のわり合は、県内で1番
- ・中国、ベトナム、韓国、フィリピン
- ・えい住、ぎのう実習、りゆう学

外国人市民のくらしにくさ

- ・言葉… 授業で、病気のとき
- ・お金… ねだん、買い方など
- ・生活… 仕事を見つめる、食べる

広島県からみて東広島市の人口にはどんな特色があるか
 東広島市の外国人市民の割合は県内ではどのくらい高いか
 東広島市の外国人市民の割合は県内ではどのくらい高いか

気になるくらしにくさ★

とくにかい決したいこと

例：病気の時に
どうしていいかわからない

くらしやすい(よい)	くらしにくい(困った)
<ul style="list-style-type: none"> ● ● ・食事がおいしい ・親切、迷っても教えてくれる ・サッカー人気(言葉はいらない) 	<ul style="list-style-type: none"> ★ ・ことばが分からない ・授業が分からない (でも友だちが身ぶりで教えてくれる)
<p>西田</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入りがない、宿題が少ない ・外国出身でも差別されない 	<ul style="list-style-type: none"> ・天気が変わりやすい、あらし ・物のねだんが高い
<p>広島大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のんびり、自然が多い(孫) ・住民としてあつかってくれる (スライダー) ・ハラルのお店がある(ムティア) 	<ul style="list-style-type: none"> ・現金だけ、スマホで買えない(孫) ・外食が難しい(スライダー) ★ ★ ・アルバイトでやってももらえない (ムティア) ・病気のときに、伝えにくい(ムティア)

東広島市をもっとくらしやすいまちにしよう

- ・私に「でも」できること
 - 病院を探してあげたり、病院への行き方を教えてあげる
- ・市に「こそ」できること
 - お医者さんにいるいろいろな言葉で相談できる電話やインターネットのサービスをつくる

資料1：広島県からみて東広島市の人口にはどんな特色があるか

資料2：世界地図と●シール

資料3：①東広島市の外国人市民がどこから来ているか、
②東広島市の外国人市民は何のために日本に来ているかは、学校あてに送付します。ご活用ください。

副読本pp.129-136で教材研究できます。
児童には、事前アンケートに取り組んだり、副読本のグラフを眺めさせておくことをお勧めします。「のん太の学び場」の「外国人市民」も参考となります。

※下部の青枠内は、教師への説明事項。

●●小 4-1

外国人市民にとって「暮らしにくいところ」で、
とくに気になることは・・・

1

かきこみ

2

かきこみ

3

かきこみ



●●小 4-1

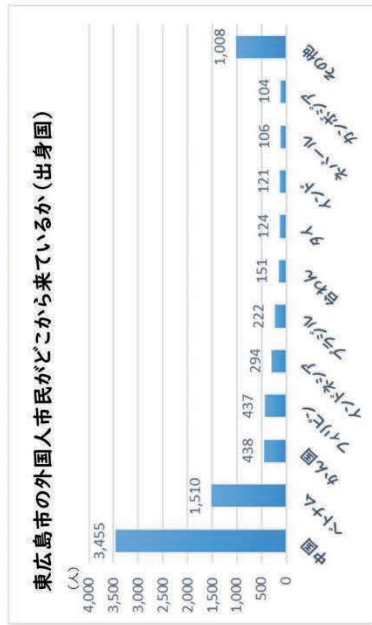
外国から来た人にとって、東広島がもっと「くらしやすいところ」になるには、どうしたらよいか!



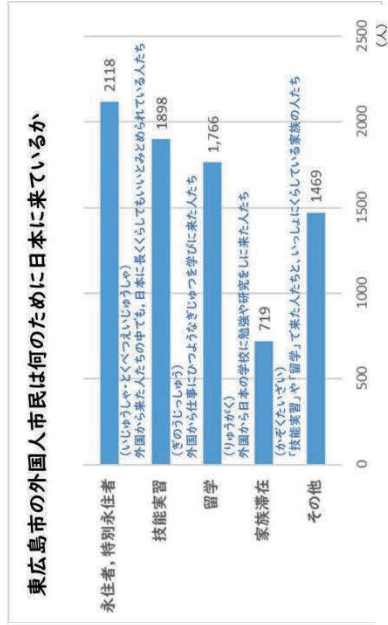
◆ワークシート 1 枚目

めあて	名前 ()	めあて	
<p>1. 広島県から見た東広島市の特色</p>	<p>3. 東広島市をくらしやすいところにするために</p>	<p>・私「でも」 できること</p> <p>・市「こそ」 するべきこと</p>	<p>とくに、かい決したいことに○をつけよう</p>
<p>2. 外国から来た人の気持ち</p>	<p>くらしやすい (良かった)</p>	<p>くらしにくい (こまった)</p>	
<p>ふりかえり (市役所や市議会の人の話で気になったこと)</p>			

◆ワークシート 2 枚目

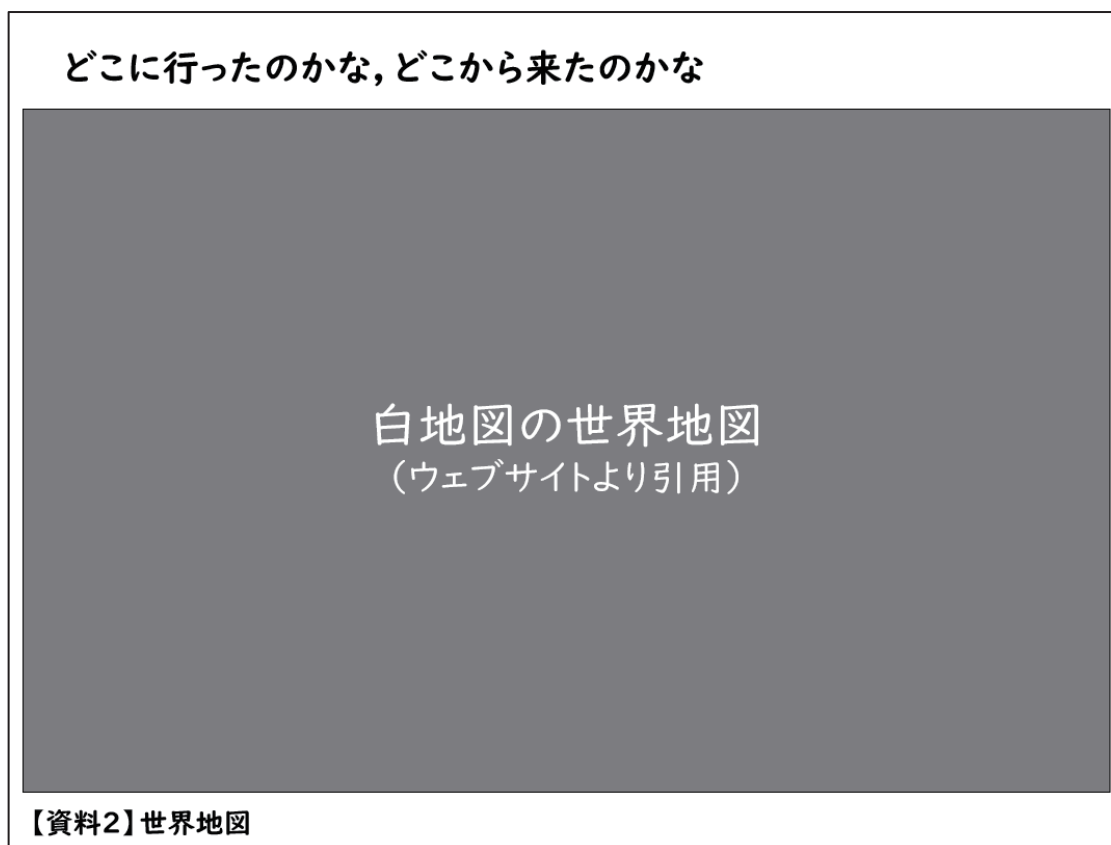
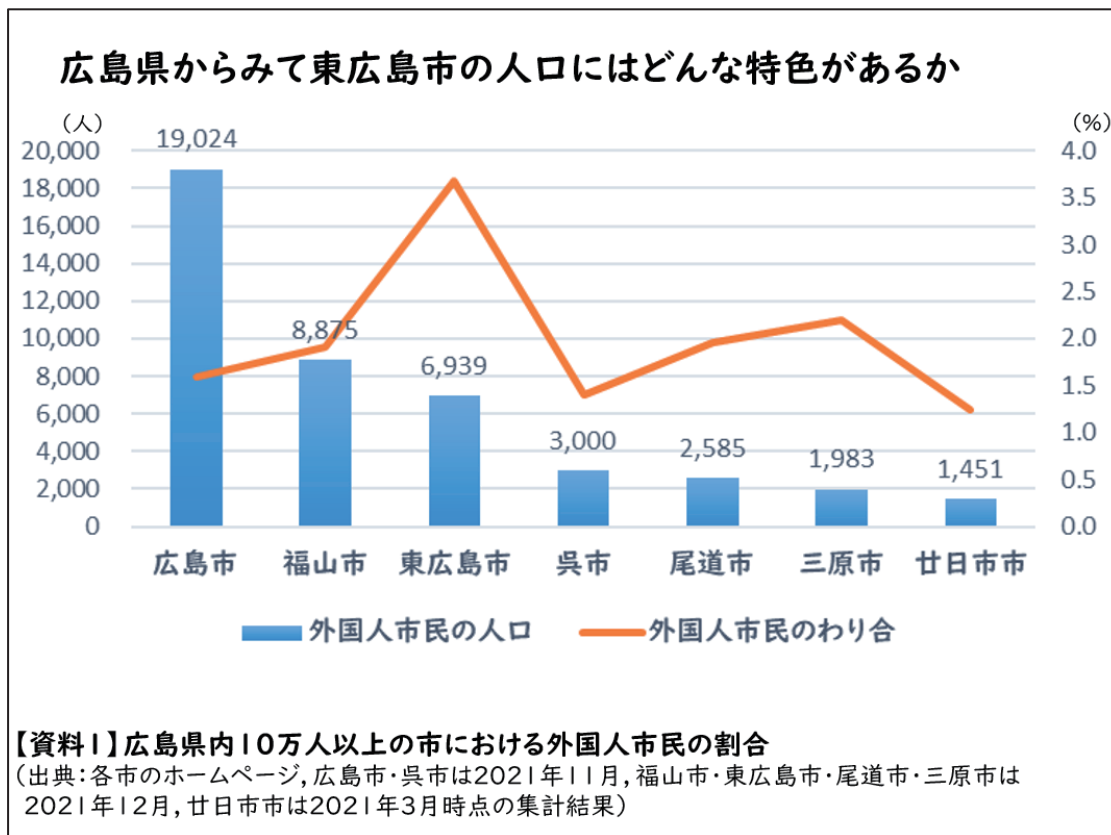


【資料3】東広島市の国籍別外国人市民の割合
(出典:『統計する東広島2020』をもとに作成, 2021年3月時点の集計結果)

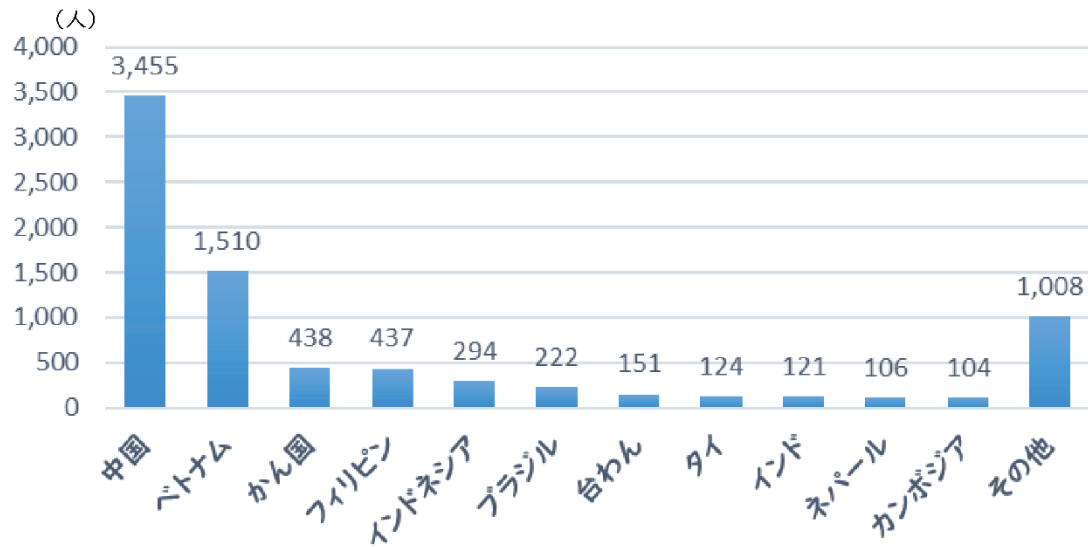


【資料3】東広島市在住の外国人の在留資格別人口割合
(出典:『統計する東広島2020』をもとに作成, 2021年3月時点の集計結果)

◆資料



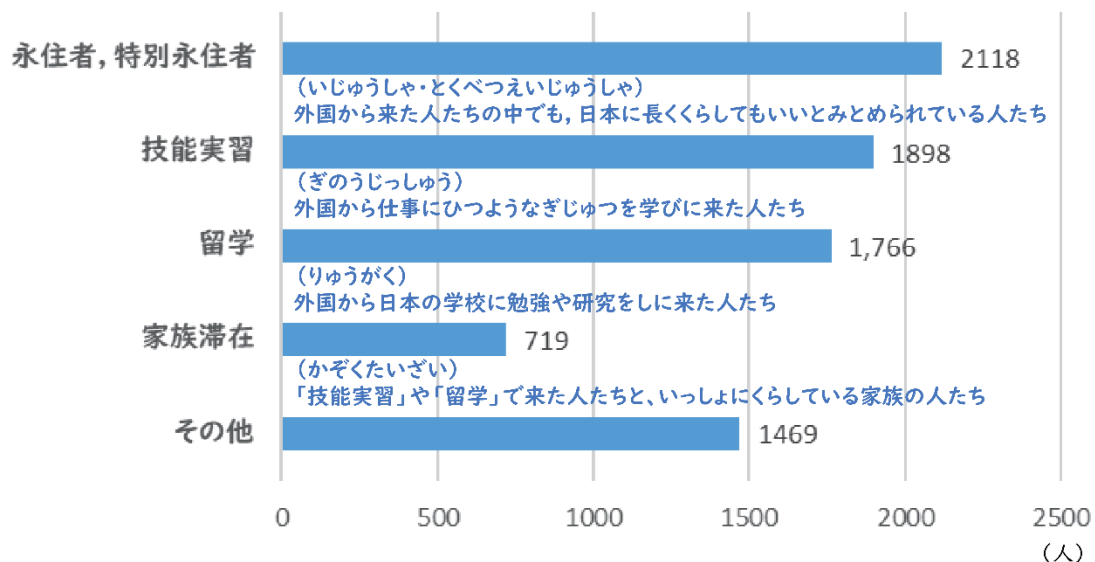
東広島市の外国人市民がどこから来ているか（出身国）



【資料3】東広島市の国籍別外国人市民の割合

（出典：『統計でみる東広島2020』をもとに作成，2021年3月時点の集計結果）

東広島市の外国人市民は何のために日本に来ているか



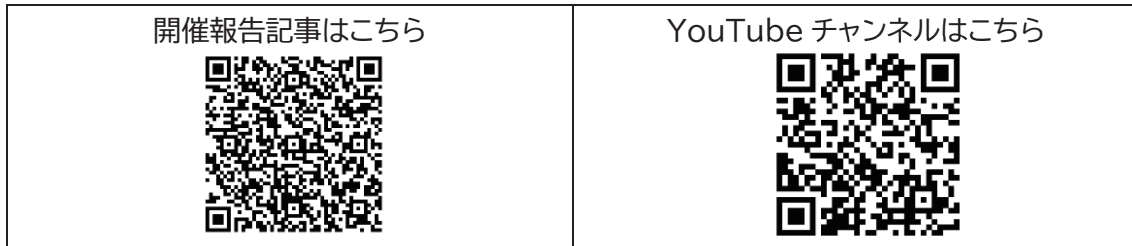
【資料3】東広島市在住の外国人の在留資格別人口割合

（出典：『統計でみる東広島2020』をもとに作成，2021年3月時点の集計結果）

4. 実施報告

※以下、文章と写真は [EVRI ウェブサイトの開催報告記事](#)より引用、一部改変。

※開催報告動画は [YouTube チャンネルにてご覧頂けます](#)。



2022年1月19日、東広島市内小学校6校13学級(三ツ城, 原, 板城, 中黒瀬, 高美が丘, 豊栄)の4年生(416名)が参加し、「外国人市民」をテーマとするオンライン授業を実施しました。

1時間目の導入は、東広島市の外国人市民の人数と人口割合を予想するクイズから始まりました。子どもたちはタブレットを使って回答しました。東広島市に在住する外国人市民は約7,000人です。多くの児童は、広島県で最も外国人市民の割合が多い市を「広島市」と予想しました。しかし実際は3.6%の「東広島市」でした。この数字は、他の市町村に比べても突出して多いことが、統計から確認されました。

1時間目の中心的な課題は、「なれない土地には、どんな「くらしやすさ」や「くらしにくさ」があるのだろうか?」でした。事前に自分が外国に行って生活をするときには、どんなことで困りそうかを予想をしました。「言葉が読めない、話せない」「お知らせの文章が分からない」「学校の勉強が分からない」などのお困りがあがりました。そこで、家族の仕事の都合でドイツで生活をした小学生の兄妹へのインタビュー動画を視聴しました。授業についていけないなどの「くらしにくさ」はあるものの、サッカーを通して地元の友達と遊んだり、迷子になったときに優しく教えてもらえる「くらしやすさ」があることを聞きました。また結婚してアイスランドに移住した西田さんからは、物価が高いことや天候が不順なこと、アイスランド語がわからないという「くらしにくさ」がある一方で、外国人への差別は少ないこと、大学や高校の入試がないことなどの「くらしやすさ」があることを、LIVE中継で聞きました。

次に、東広島に住んでいる外国人市民はどこから来ているのかをクイズ形式で確認しました。グラフを見て、最多は中国であることを確認しました。その後、東広島の「くらしやすさ」と「くらしにくさ」について、留学生に直接尋ねる活動を展開しました。中国から来た孫さん、インドネシアからきたムティアさん、タイからきたスイダラーさんに東広島が「くらしやすいか」「くらしにくい」を○×カードで回答していただき、なぜそう思ったかを話してもらいました。自然が豊かなこと、差別がないこと、イスラム教徒のためのハラルショップがあることなどが「くらしやすい」と評価される一方、ヒジャブをつけていると仕事(アルバイト)が見つからない、スマホ決済できるお店が少ない、ハラルの外食が難しいなどの「くらしにくさ」が指摘されました。

2 時間目では、「外国から来た人にとって、東広島を「くらしやすいところ」にするにはどうしたら良いか」を考えました。まず各クラスで改善したい「くらしにくさ」を選び、問題の解決策を考えました。解決策を考えるにあたっては、「私でもできること(心がけ)」と「市こそすべきこと(しくみ)」の 2 つの側面から解決策を構想しました。また「市こそすべきこと」については、市役所や市議会の人に直接伝えることになりました。「私にでもできること」としては、ジェスチャーで伝えることや見た目で差別しないことなどが挙げられました。「市こそすべきこと(しくみ)」としては、看板やメニュー表を多言語で表示すること、翻訳アプリを開発すること、日本語教室を開催すること、キャッシュレス決済対応のお店を増やすことなどが挙げられました。

この指摘を受けて東広島市の生活環境部市民生活課の松井さんは、市では複数の言語で対応できる相談所を置いていること、話せるレベルに応じた日本語教室が開催されていること、市役所に英語・中国語・日本語を話すことができる職員がいることを教えてくださいました。東広島市議会の北林議員は、看板を複数の言語で書くという児童の提案を取り上げ、電車やバスの案内を多言語にしていくこと、外国人に優しくしていくことが大切と述べました。鈴木議員は、病院で自分の体調を伝えるカードやホワイトボードを作るという児童の提案を取り上げ、病院だけでなく他の場所でも使える提案はないかなと問いかけました。子どもからは、自己紹介カードをつくったり、案内にピクトグラムを取り入れたりしてはどうかと回答がありました。鈴木議員は素晴らしい提案だと述べ、お褒めの言葉をいただきました。

最後に日本語教育を専門にする広島大学の永田良太教授からお話を伺いました。日本人が当たり前に行っていることの中にも外国人にとっては困ることがたくさん眠っていること、隣の人何か困っているのではないかと考える思いやりの気持ちを忘れないこと、積極的にコミュニケーションをとること、優しい日本語で話しかけること、外国人にとって住みやすいまちは、私たちにとっても住みやすいまちであること、などが話されました。

2 時間を通して、「くらしやすさ・くらしにくさ」を視点に、外国人市民にとっての生活とその課題を引き出し(第 1 時)、課題の解決策を構想し、「くらしやすさ」のために直接市役所や市議会に政策提言していく(第 2 時)社会科らしい学習となりました。



豊栄小学校にて授業をする様子
(草原教授)



投票の理由について発表する児童の様子



ある小学生兄妹のドイツでの暮らしの様子



アイスランドにいる西田さんの話を聞く様子



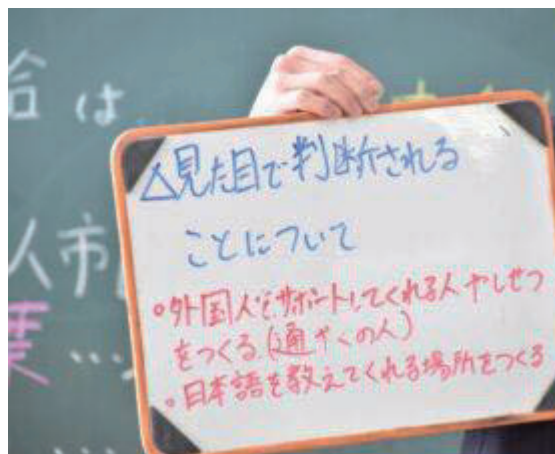
東広島の生活について話す様子
(スイダラーさん)



留学生(孫さん・ムティアさん・スイダラー
さん)と永田教授



くらしやすさとくらしにくさをまとめる様子



市でこそ解決することのまとめの様子



市役所からの中継の様子



市役所からの中継の様子

※アイスランド在住の西田さん、広島大学留学生の孫さん、ムティアさん、スイダラーさん、広島大学の永田さん、東広島市生活環境部市民生活課の松井さん、東広島市議会議員の北林さん、鈴木さんには、写真掲載の許可をいただいております。

5. 児童用アンケートの結果

広域交流型オンライン社会科地域学習 2022年1月期 児童用アンケートの結果（自由記述の分析）

【分析の手続き】

- 広域交流型オンライン社会科地域学習（2022年1月期実施分）に対する児童の意識を探索的に明らかにするために、アンケート問7「感想を教えてください。」への回答についてテキストマイニングによる分析を行った。
- 分析には、KH Coder（Version.3.Beta.03d）を用いた。
- 分析対象となる児童の記述のうち、次の語句については事前に修正を施している。①明らかに誤字・脱字として認められるものは、正しい表記に修正した。例えば、「じぎょうをうける」は「授業を受ける」に直している。②漢字・仮名交じりで表記が揺れている語句は漢字表記に統一した。例えば、「がいこく」、「がい国」は全て「外国」に直している。③同義と考えられる語句は統一した。例えば、「めっちゃ」、「とても」はともに程度が大きいことを表す副詞と解されるため、「めっちゃ」を「とても」に合わせた。④繰り返し表現は除した。例えば「とてもとても」は「とても」に修正した。⑤そのほか、一部の表現をより妥当な処理ができる形へと修正した。
- 分析の際、複合語は一語として処理した。例えば、「外国人」は「外国」「人」ではなく、「外国人」として処理した。
- 以上の設定で、①抽出後リストの作成、②共起ネットワーク（＝単語が同時に出現する関係性を示したものの）の作成を実行した。

【分析に対する簡単な考察】

- 「外国人」が「日本」（「東広島」）で「住む」・「暮らす」うえで経験する楽しみや困難について「知る」・「わかる」ことができた児童が多数であったと推察される（Subgraph 01）。とりわけ、外国人の生活状況のうち「困る」こと・「悪い」ことが彼らに大きなインパクトを与えていることが、語の頻出度合や共起ネットワークから示唆される。
- また、「他」の「学校」と「一緒」に「授業」を受ける・「勉強」する・「学ぶ」ことが「楽しい」・「嬉しい」と感じる児童も多かったものと考えられる（Subgraph 02）。
- Subgraph 03には、東広島市を外国人にとって暮らしやすい町にするための「アイデア」に関わる語が集約されていると見てよいだろう。「ハラル」食品に着目したり、「言葉」（とりわけ外国語活動で学習している「英語」）に注目したりしている児童の記述が目立つ。このことから、児童は、「私でもできること（心がけ）」については一定程度思慮することができているものと考えられる。
- キャッシュレス決済の整備や民族差別のように個人の力だけでは解決が難しい課題や、市役所や市議会議員といった政治的アクターへ言及した記述は少なかった。
- これまでのアンケートでは頻出上位50語に入っていた「調べる」が、初めてリスト圏外となった。一方で、「考える」や「出る」といった語の頻出度合が他の回と比較すると高い。このような動詞の出現の様相は、町の改善案を検討・提言する活動が児童の中で十分に印象に残っていることを表わしているものと考えられる。

抽出語リスト（総計上位 50 語）¹

【1 月期（外国人市民・小学 4 年生）】

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
外国人	239	他	96	嬉しい	54	違う	30	食べる	19
人	201	暮らす	84	自分	54	オンライン	29	話す	19
外国	168	日本	83	行く	52	大学	25	英語	18
思う	163	授業	82	考える	48	一緒	23	気持ち	18
いろいろ	141	困る	73	意見	45	先生	23	案	17
楽しい	134	東広島	73	勉強	43	提案	22	出る	17
聞く	123	話	68	来る	42	言う	21	悪い	17
分かる	117	市	64	たくさん	40	教える	20	ありがとう	16
知る	114	国	58	住む	39	言葉	20	アイデア	16
学校	111	学ぶ	56	良い	37	市民	20	インターネット	16

【12 月期（駅や町の移り変わり・小学 3 年生）】

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
駅	79	学校	14	たくさん	6	少ない	4	親	3
昔	44	町	14	次	6	先生	4	人口	3
楽しい	37	オンライン	13	変化	6	大学生	4	説明	3
分かる	37	嬉しい	13	様子	6	比べる	4	前	3
今	34	授業	13	意見	5	聞く	4	全然	3
知る	27	学ぶ	10	見る	5	外	3	東広島	3
思う	18	教える	10	大学	5	学習	3	不思議	3
いろいろ	17	調べる	9	変わる	5	今日	3	理由	3
違う	16	受ける	7	勉強	5	事	3	びっくり	2
他	15	人	7	行く	4	自分	3	インターネット	2

【11 月期（伝統文化・小学 4 年生）】

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
伝統	26	歌舞伎	6	たくさん	3	いつか	2	伝える	2
楽しい	20	分かる	6	オンライン	3	クイズ	2	白市	2
いろいろ	18	学ぶ	5	意見	3	一緒	2	発表	2
学校	17	授業	5	嬉しい	3	外	2	すみません	1
知る	17	神楽	5	考える	3	次	2	それぞれ	1
文化	17	自分	4	行く	3	自慢	2	な	1
思う	16	少し	4	小学校	3	色々	2	びっくり	1
他	15	調べる	4	先生	3	説明	2	インタビュー	1
地域	14	聞く	4	勉強	3	大学	2	リモート	1
人	8	ありがとう	3	本当に	3	中継	2	意味	1

¹ 動詞を赤色，学習内容に関連する名詞を青色で表した。

【10月期（消防署・小学3年生）】

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
消防署	138	他	41	調べる	20	分署	14	びっくり	9
楽しい	123	見る	38	外	19	違う	13	考える	9
知る	118	ありがとう	37	教える	19	救急車	12	次	9
いろいろ	97	分かる	35	先生	19	小学校	12	受ける	9
人	51	オンライン	34	勉強	19	消防士	12	新しい	9
消防車	49	思う	34	高屋分署	18	大学生	11	西分署	9
学ぶ	48	聞く	29	意見	15	学習	10	違い	8
授業	45	たくさん	21	一緒	15	計画書	10	時間	8
学校	42	車	21	種類	15	行く	10	コロナ	7
嬉しい	42	社会	20	大学	15	話	10	今度	7

【9月期（災害・小学4年生）】

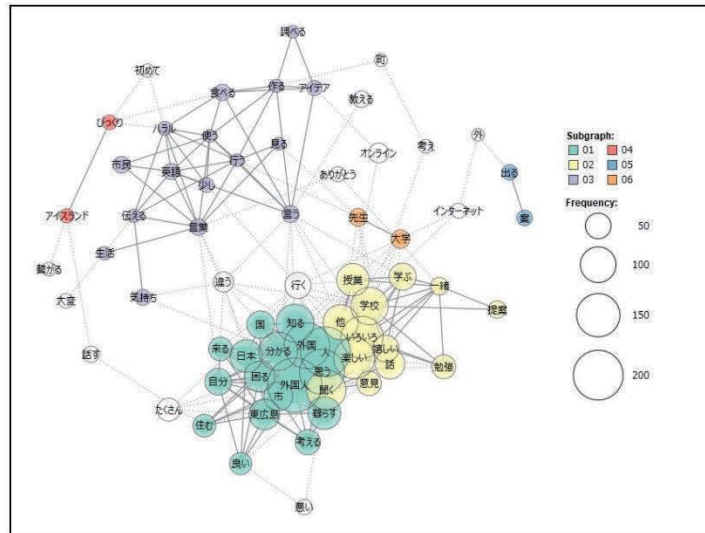
抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
災害	211	危険	54	土石流	28	意見	19	実際	12
知る	146	人	49	聞く	28	話	19	小学校	12
分かる	139	見る	48	オンライン	26	嬉しい	16	昔	12
いろいろ	91	学校	46	教える	25	気	16	言う	11
思う	79	先生	45	良い	24	低い	16	専門家	11
楽しい	78	学ぶ	38	ドローン	23	勉強	16	インターネット	10
起きる	76	場所	35	大学	23	怖い	15	クイズ	10
授業	59	自分	34	調べる	22	外	14	土砂崩れ	10
地域	58	たくさん	30	行く	21	社会	14	ハザードマップ	9
他	55	浸水	28	東広島	20	危ない	13	一緒	9

【7月期（小売店・小学3年生）】

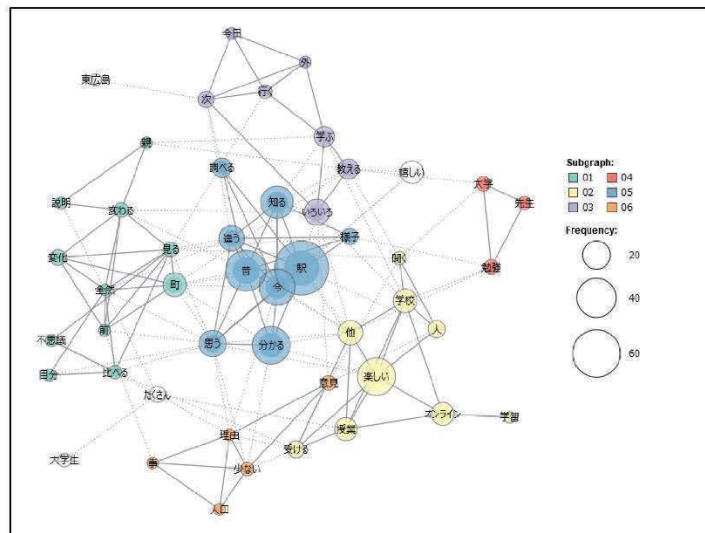
抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
店	347	勉強	101	違う	57	違い	33	発表	24
いろいろ	298	嬉しい	98	次	53	意見	31	初めて	23
楽しい	285	行く	83	クイズ	47	しゃくなげ館	30	今日	22
知る	204	オンライン	82	大学	47	キャッチフレーズ	29	詳しい	21
学校	165	社会科	76	たくさん	46	受ける	28	大学生	20
人	151	スーパーマーケット	70	インターネット	46	野菜	28	友達	19
他	137	一緒	69	聞く	44	工夫	27	考える	18
授業	131	小学校	63	見る	37	種類	26	好き	17
思う	125	先生	58	学習	35	直売所	26	シヨージ	16
学ぶ	107	調べる	58	教える	35	売る	26	タブレット	16

共起ネットワーク²

【1月期（外国人市民・小学4年生）】

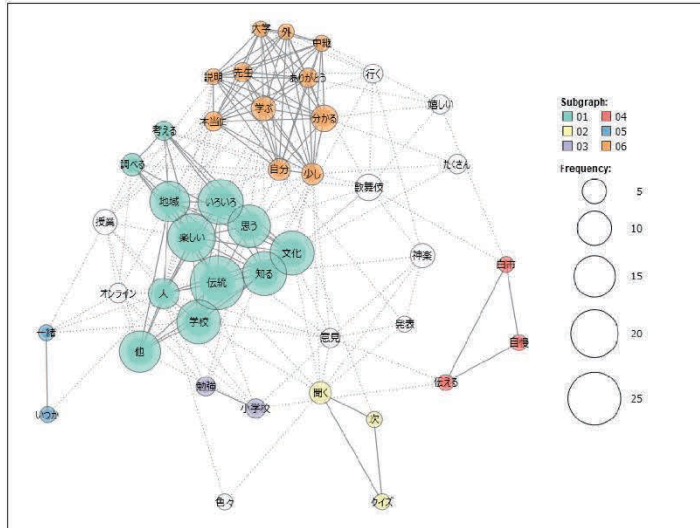


【12月期（駅や町の移り変わり・小学3年生）】

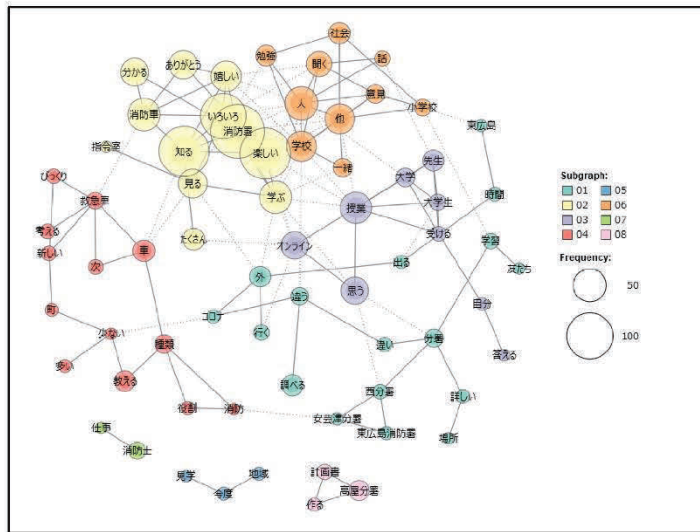


² Jaccard 係数が 0.1 以上の共起関係を示した。円の大きさは語句の出現頻度を、線は共起関係を示す。円の位置や、円間の距離に意味はない。

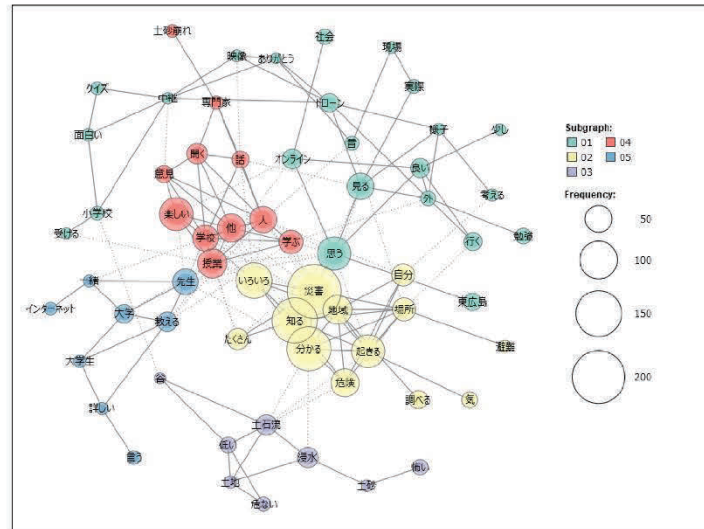
【11 月期（伝統文化・小学 4 年生）】



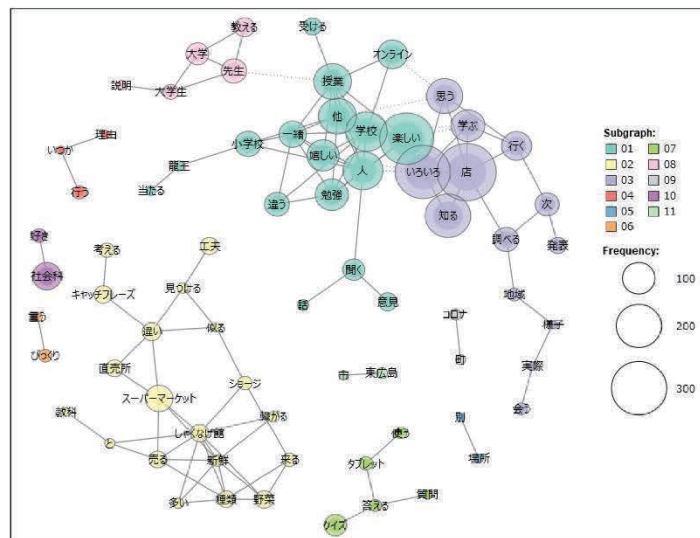
【10 月期（消防署・小学 3 年生）】



【9月期（災害・小学4年生）】



【7月期（小売店・小学3年生）】



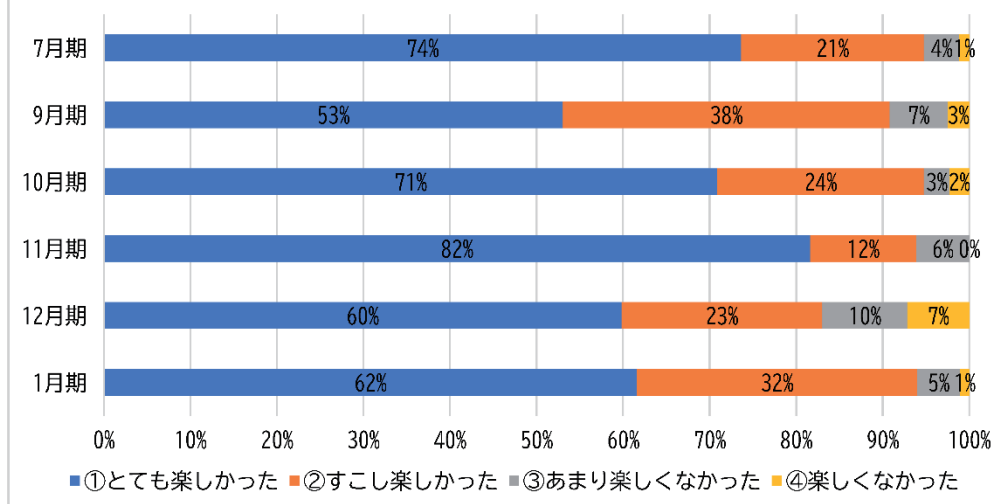
以上

広域交流型オンライン社会科地域学習
2022年1月期 児童用アンケートの結果（量的データの単純集計）¹

全参加校の総計

問1 「〇〇〇〇」について学んだじゅぎょうは、どうでしたか。²

回答の選択肢	7月期	9月期	10月期	11月期	12月期	1月期
①とても楽しかった	635	191	217	40	67	236
②すこし楽しかった	182	136	73	6	26	124
③あまり楽しくなかった	35	24	9	3	11	19
④楽しくなかった	10	9	7	0	8	4
計	862	360	306	49	112	383



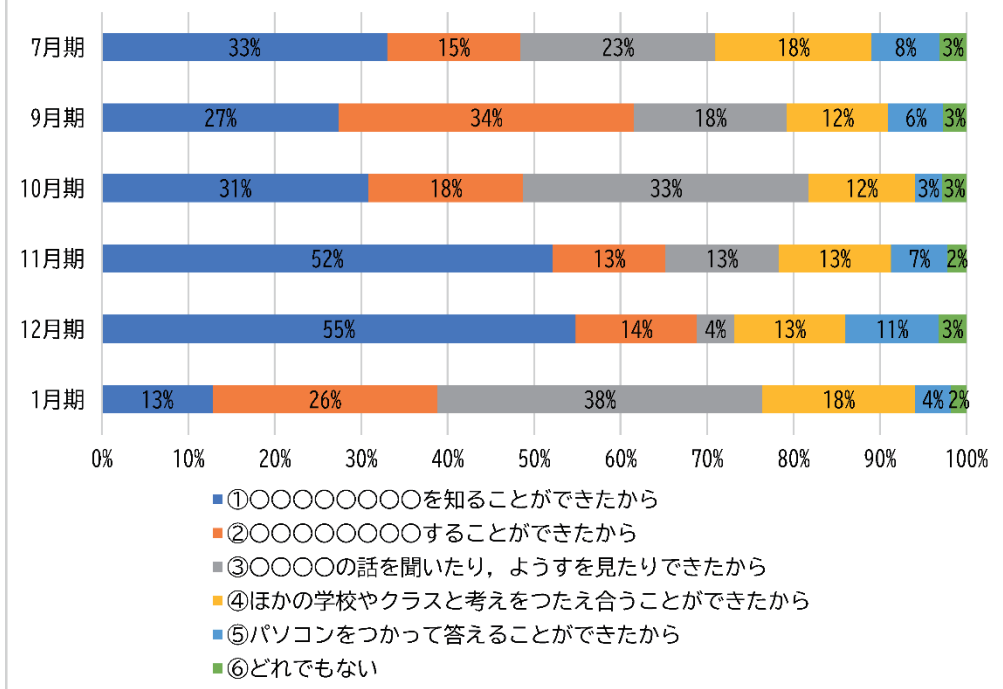
問2 問1で①と②と答えた人に聞きます。なぜ「楽しかった」のですか。³

¹ 複数回答は無効回答として処理した。なお、7・10・12月期は小学3年生を、9・11・1月期は小学4年生を対象とした授業である。

² 7月期は「お店」、9月期は「さい害」、10月期は「消ぼうしょ」、11月期は「伝とう文化」、12月期は「駅やまちの変化」、1月期は「外国でくらすこと」の授業について問うている。

³ 7月期は「①いろいろな店を知ることができたから」、「②店のちがいをキャッチフレーズに表すことができたから」、「③店の人の話を聞いたり、ようすを見たりできたから」を選択肢とした。9月期は「①いろいろなさい害を知ることができたから」、「②地いきのキケンなところを見つけることができたから」、「③さい害について、話を聞いたり、ようすを見たりできたから」を選択肢とした。10月期は「①消ぼうしょのちがいを知ることができたから」、「②高屋分しよ計画書をつくることができたから」、「③消ぼうしょの人の話を聞いたり、ようすを見たりできたから」を選択肢とした。11月期は「①

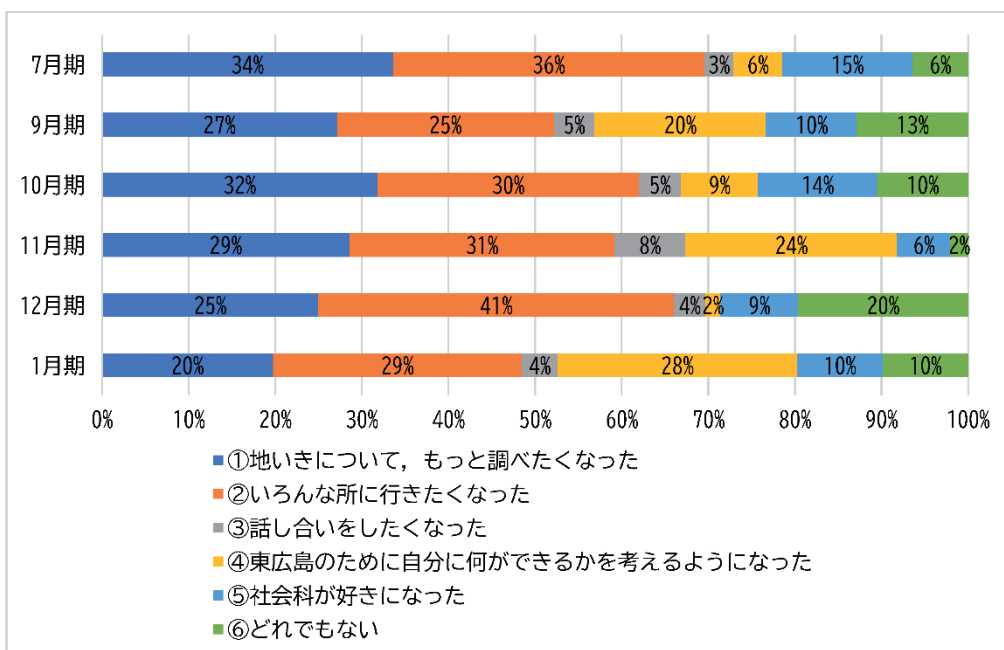
回答の選択肢	7月期	9月期	10月期	11月期	12月期	1月期
①○○○○○○○○○○を知ることができたから	265	82	88	24	51	43
②○○○○○○○○○○することができたから	124	102	51	6	13	87
③○○○○○の話を聞いたり、ようすを見たりできたから	181	53	94	6	4	126
④ほかの学校やクラスと考えをつたえ合うことができたから	145	35	35	6	12	59
⑤パソコンをつかって答えることができたから	63	19	9	3	10	14
⑥どれもでない	25	8	8	1	3	6
計	803	299	285	46	93	335



いろいろな伝とう文化について知ることができたから」、「②地いきの伝とう文化のみらいを予想することができたから」、「③伝とう文化を受けつぐ人の話を聞いたり、ようすを見たりできたから」を選択肢とした。12月期は「①昔や今の駅のようすについて知ることができたから」、「②私たちのまちのうつり変わりを見つけることができたから」、「③まちのうつり変わりについて話を聞いたり、見たりできたから」を選択肢とした。1月期は「①市が外国の人のためにしていることを知ることができたから」、「②外国の人がくらしやすくするためのアイデアをてい案できたから」、「③外国でくらししたことのある人の話を聞いたり、ようすを見たりできたから」を選択肢とした。

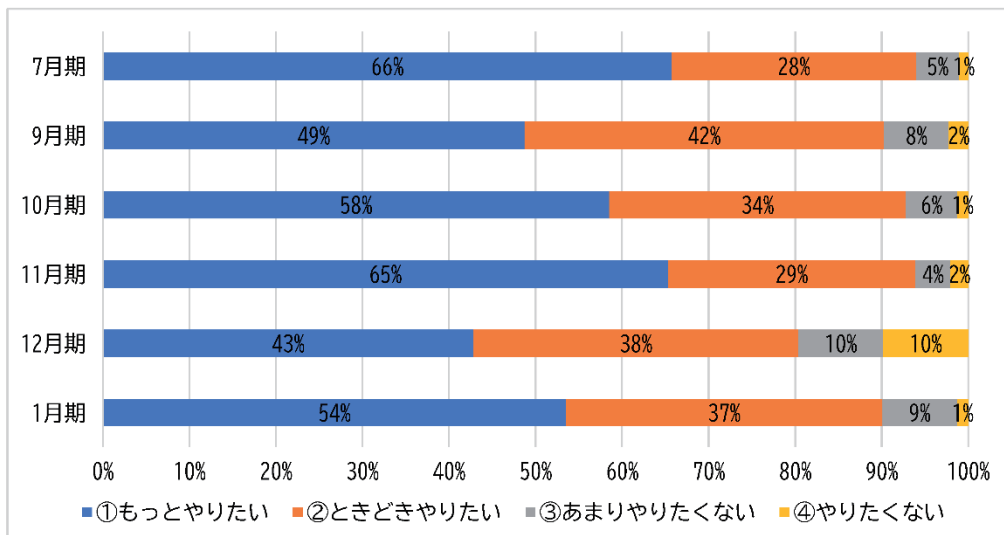
問3 じゅぎょうの後、どんなことを考えましたか。

回答の選択肢	7月期	9月期	10月期	11月期	12月期	1月期
①地いきについて、 もっと調べたくなった	288	93	97	14	28	72
②いろんな所に行きたくなった	308	86	92	15	46	105
③話し合いをしたくなった	29	16	15	4	4	15
④東広島のために自分に何が できるかを考えるようになった	48	68	27	12	2	101
⑤社会科が好きになった	129	36	42	3	10	36
⑥どれもでない	55	44	32	1	22	36
計	857	343	305	49	112	365



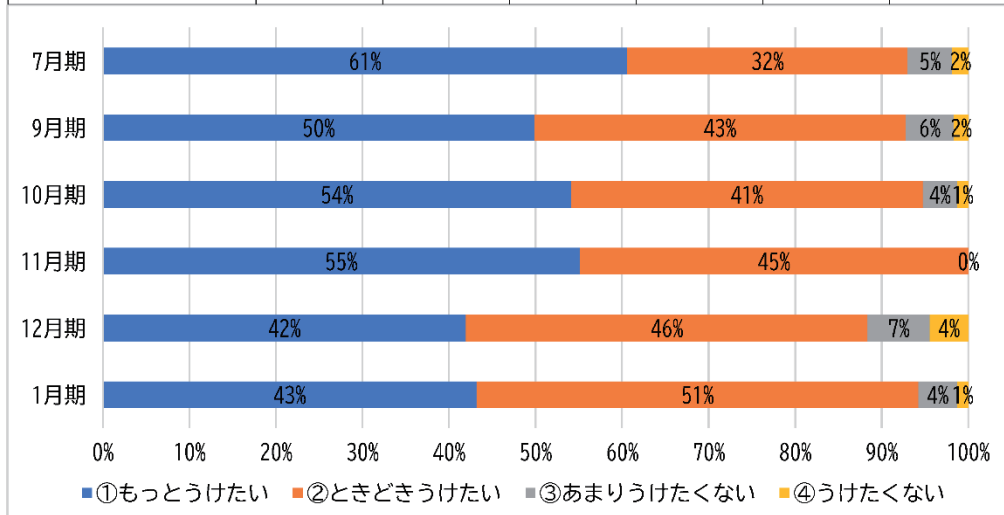
問4 ほかの学校の友だちといっしょに学ぶじゅぎょうは、どうでしたか。

回答の選択肢	7月期	9月期	10月期	11月期	12月期	1月期
①もっとやりたい	566	175	179	32	48	205
②ときどきやりたい	243	149	105	14	42	140
③あまりやりたくない	43	27	18	2	11	33
④やりたくない	9	8	4	1	11	5
計	861	359	306	49	112	383



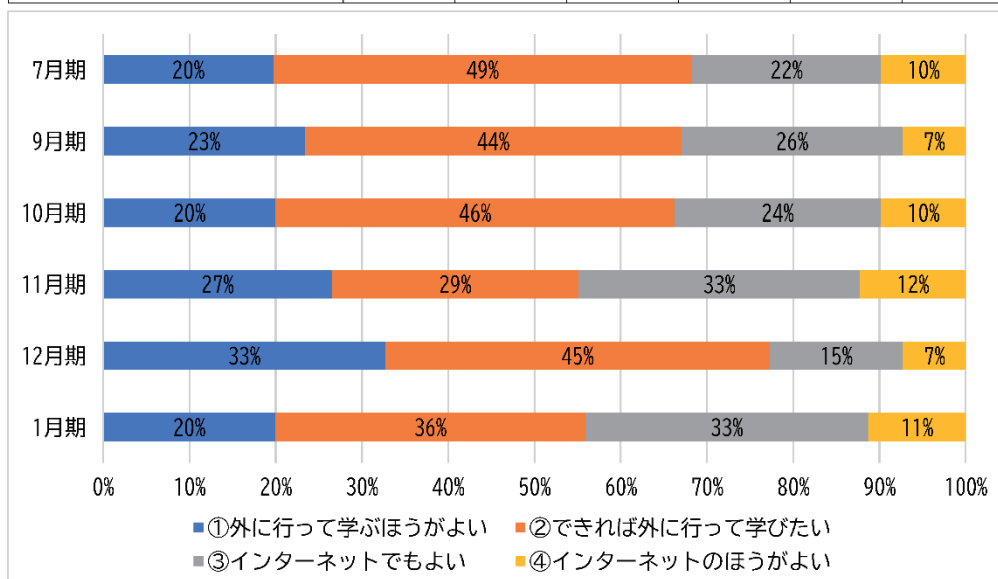
問5 大学の先生や大学生が行うじゅぎょうは、どうでしたか。

回答の選択肢	7月期	9月期	10月期	11月期	12月期	1月期
①もっとうけたい	521	179	165	27	47	165
②ときどきうけたい	279	149	124	22	52	195
③あまりうけたくない	44	27	12	0	8	17
④うけたくない	16	8	4	0	5	5
計	860	363	305	49	112	382



問6 校外に出かけるじゅぎょうとくらべて、どうでしたか。⁴

回答の選択肢	7月期	9月期	10月期	11月期	12月期	1月期
①外に行って学ぶほうがよい	169	83	61	13	36	76
②できれば外に行って学びたい	416	155	141	14	49	137
③インターネットでもよい	188	91	73	16	17	125
④インターネットのほうがよい	84	26	30	6	8	43
計	857	355	305	49	110	381



⁴ 7月期は「①店に行って学ぶほうがよい」、「②できれば店に行って学びたい」を選択肢とした。

6. 担当者・協力者一覧

◆ 企画・運営機関

広島大学教育ビジョン研究センター(EVRI)
草原 和博 (人間社会科学研究科・教授)
宇ノ木 啓太 (教育研究推進員)
草原 聡美 (教育研究推進員)
吉田 純太郎 (教育研究推進員)
川本 吉太郎 (大学院 人間社会科学研究科・博士課程後期)
玉井 慎也 (大学院 人間社会科学研究科・博士課程後期)
川上 由美 (大学院 人間社会科学研究科・博士課程前期)
田中 峻斗 (大学院 人間社会科学研究科・博士課程前期)
大岡 慎治 (教育学部 第二類 社会系コース)
佐藤 莉沙 (教育学部 第二類 社会系コース)
正出 七瀬 (教育学部 第二類 社会系コース)
津田 晃希 (教育学部 第二類 社会系コース)
永田 誠弥 (教育学部 第二類 社会系コース)
森本 敬仁 (教育学部 第二類 社会系コース)
山下 光 (教育学部 第二類 社会系コース)
山下 弘洋 (教育学部 第二類 社会系コース)
八木 謙樹 (教育学部 第二類 社会系コース)

◆ 連携・実施機関

東広島市教育委員会学校教育部
教育総務課情報教育推進室
沖 秀治 (室長)
三井 成宗 (室長補佐兼係長兼指導主事)

◆ 協力者

アイスランド在住 西田 めぐみ 様
広島大学留学生 スイダラー・ブンサーム 様
広島大学留学生 孫 浩凜 様
広島大学留学生 ムティア・クスマワティ 様
東広島市生活環境部市民生活課 松井 秀樹 様
東広島市議会市民経済委員会 北林 光昭 様
東広島市議会市民経済委員会 鈴木 英士 様
広島大学大学院人間社会科学研究科・教授 永田 良太 先生

※所属や職階は、2022年3月末日時点のものです。

EVRI 研究プロジェクト叢書 Vol.14

2021 年度東広島市広域交流型オンライン地域学習
ー2022 年 1 月実践「外国から来た人にとって
東広島市はくらしやすいか？」ー

発行日 2022 年 9 月 30 日

編著者 草原和博・大坂遊・宇ノ木啓太・草原聡美・
吉田純太郎

編集 広島大学教育ビジョン研究センター (EVRI)

印刷 (株)ニシキプリント



**EDUCATIONAL
VISION
RESEARCH
INSTITUTE**